

請 願 一 覧 表

[令和6年第3回高梁市議会（定例）]

請願第1号

受理年月日	件 名	請 願 者	紹介議員
R6. 5. 22	少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	高梁市片原町8 岡山県教職員組合高梁支部 支部長 井納 志浩	宮田 好夫



2024 年 5 月 22 日

高梁市議会議員
石田 芳生様

請願者 住所 高梁市片原町 8

氏名 岡山県教職員組合高梁支部

支部長 井納 志浩



紹介議員

富田 好夫



少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025 年度政府予算に係る意見書採択の請願について

<請願趣旨・理由>

2021 年 3 月 31 日に改正義務標準法が成立し、小学校の学級編制標準が学年進行により段階的に一律 35 人に引き下げられています。しかし、中学校・高等学校の学級編制標準は据え置かれています。さらにきめ細かな教育をするためには 30 人学級や中学校・高等学校での少人数学級の早期実施が必要です。少人数学級の拡充や教職員定数の改善については、全国知事会・全国市長会・全国町村会も 2023 年 11 月の「学校教育を取り巻く環境整備等に向けた提言」において、中学校を含めた少人数学級の推進や教科担任制推進のための加配定数拡充、教職員定数の改善を国に強く要望しています。こうしたなか、高梁市は小学校 30 人以下、中学校 35 人以下学級を実施されておられますことに感謝申し上げます。

しかし、全国的には 35 人学級実施に要する教職員の定数増の多くは、加配の付け替えであり、さらに、児童数減少に伴う自然減等によって教職員数は減少し続けています。2024 年度においては定年引上げに伴う特例定員によって教職員定数は純増していますが、一時的なものでしかありません。学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しています。さらに、GIGA スクール構想による一人一台端末を活用した新たな学びの創造を求められるなど、教材研究や授業準備の時間、子どもたちとむき合う時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学級とは、学校が教育的配慮のもとに組織する児童生徒の集団であり、その規模は児童生徒にとって基本的な教育条件のひとつです。また、担任する児童生徒の多寡は教員にとって労働条件のひとつであり、労働条件の良否は児童生徒の教育条件に少なからず影響を及ぼしています。

子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、政府が予算を確保し加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

こうした観点から、2025 年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、地方自治法第 99 条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出をお願いいたします。

記

1. 中学校・高等学校での 35 人学級を早急に実施すること。また、30 人学級等さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働縮減を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る学級編制基準の弾力的運用ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 新規採用を持続的に確保し、教職員が専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、教職員の処遇改善に必要な財政措置を講じること。